

● 旅の「こだわり」

安心・充実の旅

- 一般観光旅行とは異なるテーマや趣旨に沿った旅づくり
- 観光を短縮するような買物めぐりはしません！
- 詳しい資料やきめ細やかなご案内-安心・充実の旅
- 格安ツアーに見られる「安かろう・悪かろう」にしない「こだわり」の旅

● ご旅行条件（要約）

●募集型企画旅行契約
この旅行は株式会社ユーラス（以下「当社」）が企画・実施する旅行であり、この旅行に参加するお客様は当社と募集型企画旅行契約（以下「旅行契約」）を締結し、(株)ユーラストラベルが問合せ・申込みを受付けます。条件は下記他、別途旅行条件書（全文）、出発前にお渡しする最終旅行日程表＝確定書面及び当社旅行契約募集型企画旅行契約の部によります。

●旅行条件・旅行代金の基準
この旅行条件は2018年11月1日を基準としています。また、この旅行代金は2018年11月1日現在の有効なものとして公示されている運賃・規則、又は2018年11月1日現在認可申請中の航空運賃・適用規則を基準として算出しています。

●旅行契約の解除
最少催行人数に達しなかった場合、旅行を中止することがあります。この場合は、出発の23日前（ピーク時は33日前）迄にお知らせします。

●取消料
旅行契約成立後、お客様の都合で契約を解除される場合は、下記の金額を取消料として申し受けます（お一人様）。

契約解除の日	取消料
旅行開始日の前日から起算して遡って30日目にあたる日以降	旅行代金の20%
旅行開始日の前々日以降	旅行代金の50%
旅行開始後の解除又は無連絡不参加	旅行代金の100%

契約解除の日	取消料
旅行開始日の前日から起算して遡って30日目にあたる日以降	旅行代金の20%
旅行開始日の前々日以降	旅行代金の50%
旅行開始後の解除又は無連絡不参加	旅行代金の100%

※オプション・ツアー代金も上記取消料に準じます。
※査証（ビザ）取得実費代金、渡航手続き料金は、そのまま申し受けます。

- 旅行代金に含まれるもの（一部例示）
 - ・航空運賃：旅程に表記した区間の個人包括旅行運賃
 - ・宿泊料金：2人部屋基準、税・サービス料
 - ・食事代：旅程に表記のもの
 - ・空港、駅～ホテル間の送迎車料金
 - ・添乗員同行の経費（同行と明示した場合）
 - ・鉄道運賃（旅程に明示したもの）
 - ・旅程に明示した市内（郊外）見学のガイド料、入場料、チップ
- 旅行代金に含まれないもの（一部例示）
 - ・旅程以外に行動される場合の交通費、宿泊料、飲食費等
 - ・渡航手数料費用：旅券印紙代（新規に申請される場合）
 - ・渡航手数料：出入国記録等書類作成費用、査証（ビザ）取得実費・手数料
 - ・超過手荷物料金：規定の重量・大きさ・個数を超える分

- ・個人的費用：電話、電報、FAX、クリーニング代、追加飲食費用
- ・一人部屋追加料金（相部屋の方がいない場合も同様）
- ・空港施設使用料、航空保険料および保安料
- ・訪問国入国税、燃油特別付加運賃
- ・日本国内の交通費、前泊の費用、ポーター
- ・任意の海外旅行傷害保険料、オプション料金

●その他（1）旅行代金はお一人分を表示しています。
（2）当社所定の申込書にお客様のローマ字氏名記入の際には、使用されるパスポートに記載されている通りにご記入ください。氏名が誤って記入された場合は、航空券の発行替え、関係する機関への氏名訂正などが必要で、この場合、当社は第15条「旅行者の交替」に準じ、交替手数料をいただきます。なお、運送・宿泊機関の事情により、氏名の訂正が認められず、旅行契約を解除いただく場合もあります。この場合には、「旅行契約後の取消」に準じて手数料をいただきます。
●当社の募集型企画旅行にご参加いただくことにより、航空会社のマイレージを受けられる場合がありますが、同サービスに関するお問合せ、登録等はお客様自身で当該航空会社へ手続きいただきます。

●時間帯の目安
以下の通りです。航空機、バス等の移動時刻をもとにした目安です。実際の時刻とは異なる場合がありますので、予めご了承ください。

早朝	朝	午前	午後	夕刻	夜	深夜
4時	6時	8時	12時	17時	19時	23時

● 問合せ・申込先

東京都知事登録旅行業 第3-6973号 日本旅行業協会正会員 株式会社ユーラストラベル
総合旅行業取扱管理者：榊原晋治

“いい旅”育てて57年

ユーラスツアーズ

☎ 03-6453-6633

FAX 03-6453-6630 団体旅行課（滝澤・榊原）

〒108-0014 東京都港区芝 5-13-18 いちご三田ビル 9階

●Eメール: tokyo@euras.co.jp

●URL: http://www.euras.co.jp

●営業日: 平日（月～金曜日）9:30～17:30 / 土・日曜日、祝日は休みです

※当パンフレット掲載の写真はすべてイメージです。

観光庁長官登録旅行業第1906号 日本旅行業協会正会員

株式会社タビーズ

〒108-0014 東京都港区芝5-13-18 いちご三田ビル9階

● 申込み方法

1 当パンフレットの「参加予約票」をお送りください

下記の「参加予約票」にご記入の上、旅行社宛にご連絡ください。※お電話、メールにてのお問合せ・お申込み希望のご連絡でも受け付けいたします。※当社ホームページからでも可。「正式申込書」にご記入⇒添付してメールあるいはFAX可。

2 正式申込みに必要な書類を旅行社からご案内

「参加予約票」のご連絡後、旅行社より正式申込書と諸条件書類から旅行保険申込書等をお送りします。※書類到着後に条件を確認いただき、正式申込書の手続きをお願いします。

3 正式申込み手続き（下記①②が旅行社に到着し正式申込み完了）

- ①正式申込書ご記入の上、旅行社へお送りください。
- ②申込金（旅行費用内金）20,000円を下記口座へお振込みください。

- ▶口座名義：(株)ユーラストラベル
- ゆうちょ銀行 記号番号 00180-8-265002（〇～九店）
- みずほ銀行 神谷町支店（普）口座番号：1370507
- りそな銀行 麻布支店（普）口座番号：1782149

※領収書は、銀行あるいは郵便局が発行する明細書をもって替りとしています。別途必要な方はお申し付けください。

参加予約票 日本平和委員会企画 韓国ピース・ツアー

(ユーラスツアーズ宛)

①	氏名	フリガナ:	電話
	住所		FAX
			携帯
②	氏名	フリガナ:	メール
	住所		電話
			FAX
			携帯
			メール

●日本平和委員会の 会員 () 支部名 非会員 ●一人部屋を希望 する しない ●希望発着地 成田 関空 福岡 その他 ()

※当「参加予約票」をお送りいただいた後、旅行社より申込みに必要な諸案内をご住所へお送りいたしますので、渡航手続きを書面に沿ってお進めください。

日本の植民地支配から解放されて73年。

南北に分断された朝鮮半島の平和と非核化めざす民衆の運動が躍動する韓国へ！

韓国
ピースツアー
Peace Tour

●期間：2019. 2/18 (月) ▶ 2/22 (金)

●費用：143,500円 (※燃油代・諸税別)

●締切：1/18 (金) 申込み先着順

企画のポイント 歴史の息吹を体感・交流

- キャンドル革命・ソウル市民民主主義がもたらした変化を市民との交流で学ぶ
- 南北会談以降の軍事境界線を訪問
- 日本軍「慰安婦」問題解決へ向けた連帯と水曜集会に参加
- 在韓米軍基地の実態と被害、基地強化の反対を掲げる団体と交流
- 韓国の歴史と文化にもふれる

●● 旅のおさそい ●●

毎年大好評の日本平和委員会の韓国ピースツアー。

今回は、非核化と平和体制の構築めざして歴史的な動きがくり広げられる朝鮮半島の“いま”を体感します。

民主化と平和を求めて1600万人以上が参加した「キャンドル革命」。そして、米朝・南北首脳会談を通じて拓かれる新しい平和の可能性——歴史を創る韓国市民のみなさんとの交流を重視し、民衆の力を体感します。

そして、非武装化の動きが進む板門店や南北軍事境界線を視察。米軍基地反対の市民とも交流。徴用工問題や日本軍「慰安婦」問題など、3・1独立闘争100周年を前に、日本の侵略と植民地支配の歴史問題も考えあいます。ぜひ、ご参加を！

日本平和委員会

企画 日本平和委員会

〒105-0014 東京都港区芝 1-4-9 平和会館 4階

☎ 03-3451-6377 FAX: 03-3451-6277

旅行代金・諸条件																	
旅行期間	2019年2月18日(月)～2月22日(金) 5日間																
旅行代金	143,500円 (※2名1室利用)																
実施人数	30名様(最低実施人数20名様) ※20名未満の場合は、旅行費用変更して参加有無を改めて伺います																
申込締切	1月18日(金) ※定員になり次第、締切ります																
別途費用	燃油サーチャージ: 5,890円 / 訪問国諸税: 2,410円 成田施設使用料・航空保険料: 2,610円 ※燃油代・諸税は航空券発券時の換算率によって増減します																
一人部屋追加	29,500円 ※相部屋の方がいない場合も要追加費用																
日本発着空港	<table border="1"> <thead> <tr> <th>発着地</th> <th>利用予定航空会社</th> <th>往路発時刻</th> <th>復路着時刻</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>成田</td> <td>アジアナ航空</td> <td>09:00 発予定</td> <td>17:55 着予定</td> </tr> <tr> <td>関空</td> <td>アジアナ航空</td> <td>09:00 発予定</td> <td>18:55 着予定</td> </tr> <tr> <td>福岡</td> <td>大韓航空</td> <td>10:30 発予定</td> <td>19:55 着予定</td> </tr> </tbody> </table>	発着地	利用予定航空会社	往路発時刻	復路着時刻	成田	アジアナ航空	09:00 発予定	17:55 着予定	関空	アジアナ航空	09:00 発予定	18:55 着予定	福岡	大韓航空	10:30 発予定	19:55 着予定
	発着地	利用予定航空会社	往路発時刻	復路着時刻													
	成田	アジアナ航空	09:00 発予定	17:55 着予定													
	関空	アジアナ航空	09:00 発予定	18:55 着予定													
福岡	大韓航空	10:30 発予定	19:55 着予定														
団長・事務局・添乗員は成田発着です。 成田便以外のご利用希望は当チラシ最終頁の参加予約票と別途ご案内の正式申込書にその旨をご記入ください。 ※成田便以外(関空・福岡発着が同日・同行動が可能ですが)																	
・個人運賃(時価)対応となります(お申込時点での運賃を適用) ・お申込後にご利用便を発売します。発売後のキャンセルは100% ・取消料(運賃)がかかりますので、予めご承知おきください。 その際は現地費用が裏面の「取消料」の対象となります。																	
▶利用航空会社: アジアナ航空 / コリアン・エア ※手配のお座席は団体・個人割引運賃(エコノミークラス)を適用したものです。搭乗日前の事前座席指定は不可となっています。 ▶利用予定ホテル: ソウル(コリアナ/ステイB) ※3~4ツ星利用(バスタブのない場合もあります) ▶添乗員同行(1名)																	

- ▶利用航空会社: アジアナ航空 / コリアン・エア
- ※手配のお座席は団体・個人割引運賃(エコノミークラス)を適用したものです。搭乗日前の事前座席指定は不可となっています。
- ▶利用予定ホテル: ソウル(コリアナ/ステイB)
- ※3~4ツ星利用(バスタブのない場合もあります)
- ▶添乗員同行(1名)

スケジュール	食事(朝・昼・夕)	宿泊地
●午前: 空路✈、 韓国の首都ソウル へ(※団体は成田より) (成田 09:00→11:40着 / 関空 09:00→11:00着 / 福岡 10:30→12:00着) ●昼頃: 仁川空港にて各地発の人と合流～専用車へ移動 ●午後: ソウル市内見学 =ソウルのシンボル旧王宮の● 景福宮 と ◎ 「朝鮮総督府」 といわくの◎ 光化門 と◎ 光化門広場 、◎ 閔妃暗殺の現場 、朝鮮占領の歴史を伝える● 国立民族博物館 ●夕刻: 米朝・南北会談と今後についてレクチャー ※韓国市民活動家より(予定) ●夕刻: 団夕食交流会	ソウル	ソウル
●午前: 平和・非核化、南北分断の克服の新しい動きについて ※キョレハナ平和研究センターを訪問・交流(予定) ◆ 「キャンドル革命」の現場となった清溪広場や光化門広場を見学 ◆ 「板門店宣言」の履行について交流 ●午後: ソウル市民民主主義とキャンドル革命について交流 ※参与連帯を訪問・交流(予定) ◆ 「キャンドル革命」がもたらした変化と「ソウル市民民主主義」について懇談・交流	ソウル	ソウル
●午前: 日本軍「慰安婦」問題の解決へ向けての交流 ◆ 歴史認識と日本軍「慰安婦」問題について ◆ 女性と人権博物館の見学 ※韓国挺身隊問題対策協議会を訪問・交流(予定) ●昼頃: 「水曜集会」に参加 ◆ 日本領事館前での「慰安婦」問題抗議行動に参加 ◆ 旅行団・代表から1分間スピーチ予定 ●午後: 在韓米軍基地の現状と問題について交流 ◆ 米軍基地反対行動をしている団体と基地問題・実情について交流 ※平沢米軍基地反対団体を訪問・交流(予定) ●夕刻: 訪問団体と夕食交流会	ソウル	ソウル
●終日: 南北朝鮮を分断している軍事境界線へ ◆ 軍事境界線を見学(板門店あるいは統一展望台) ※南北会談以降、板門店への訪問は規制がかかっています。現地事情によって訪問先がどちらかになります。	ソウル	ソウル
●午前: 独立運動の歴史を伝える博物館と市民の台所・市場へ = 新たに開設された日本占領時代を伝える● 植民地歴史博物館の見学 と◎ 市場での自由散策 ～(自由散策後に全体集合)専用車で空港へ移動 ●午後: 仁川空港へ(13:30頃着)～空港到着後、解散式～目的地別に搭乗手続き (15:45→17:55成田着 / 17:00→18:55関空着 / 18:40→19:55福岡着) ●午後: 空路✈、 帰国の途へ	ソウル	ソウル

註: ㉿印=食事付き、㊞印=自由食、㊟印=機内食、OP=オプション・ツアー
●印=入場見学、◎印=下車見学、○印=車窓見学、✈=航空機

朝鮮王朝の文化遺産と日本占領時代の歴史を見学

● 大韓民国の首都・ソウル

朝鮮王朝 500年の王都。四神相應の思想によって、李氏朝鮮の開祖が建国し、1394年に王都と定めて以来、韓国の政治・経財・文化の中心地でもある。
 「特別市」として「道」と同等の自治体として独立し、行政道には属さない。現在は、経済発展によりアジアを牽引する国の1つとなっている。
 また、1910年8月29日の大日本帝国による韓国併合から、1945年9月9日の朝鮮総督府による対連合降伏まで、35年間に及び日本占領時代が続いた。



■ 景福宮



風水に基づき、現在の立地に選ばれた朝鮮王朝の開祖・李氏の王宮。鄭道伝によって「景福宮」と命名される。朝鮮総督府の庁舎が光化門と王宮の間に立てられた屈辱の歴史を有する。

■ 閔妃の暗殺



閔妃暗殺事件(1895年)、朝鮮で実権を持っていた親露派の王妃閔妃を、4~5人の暗殺団員が宮中に乱入し、日本刀で殺害した事件。露骨な手段を採った日本に対する反発が強まり、かえって親露派が勢いづいた。

■ 国立民族博物館



景福宮の敷地内に1945年に開館。韓国の代表的な博物館の一つで、「生活史」「日常」「一生」の3つの常設展示館からなる。日本占領時代の朝鮮総督府が置かれたジオラマも展示。

■ 植民地歴史博物館



新たに設立された博物館。日本植民地時代の強制動員真相糾明特別法の制定や強制動員被害者の補償訴訟支援など、植民地主義の克服のために活動している民族問題研究所が中心となった。

■ 南大門市場



ソウルで最も古い600年の歴史をもつ市民の台所。四方500竈に広がり、小さな路地の隙間の路面店や屋台、卸売・小売各店や飲食店がぎっしりと軒を連ねる。お土産を購入するものお薦め

歴史的な米朝・南北会談～キャンドル革命・ソウル市民民主主義がもたらした変化を学ぶ



会 日本平和委員会 韓国ピースツアーならではの訪問・交流先

● 米朝・南北会談と今後についてレクチャー

講師: イ・ジュンキュ氏(元キョレハナ平和研究センター)
 長年対立してきた米国と北朝鮮が歴史上初めての首脳会談を行い「新しい米朝関係の確立」を約束。平和体制の構築と完全な非核化で合意。また、南北首脳会談では「朝鮮戦争の終結と平和協定締結をめざす」ことに合意。今後の展望を活動家イ・ジュンキュ氏より説明。

● 南北分断の克服と平和非核化の新しい動き

交流予定先: キョレハナ平和研究センター
 2004年に発足した「キョレハナ」は、韓国に8箇所の支部を持ち、北朝鮮への人道支援などを中心に活動している。「キョレ=民族・同胞」、「ハナ=1つ」という韓国語であり、「民族・同胞は1つ」という意味の団体。支援事業だけでも11の事業本部を持っている。南北首脳会談の『板門店宣言』にもとづく南北間の緊張緩和・相互交流の進展状況などについて懇談・交流を予定。

● ソウル市民民主主義とキャンドル革命

交流予定先: 参与連帯平和軍縮センター
 「市民が主役であり、その市民の力を引き出させるのが『中央』『地方』政府だ」という朴元淳ソウル市長(元参与連帯役員)。韓国社会を大きく変化した「キャンドル革命」について、参与連帯を訪問します。当団体は、原水爆禁止世界大会や平和大会にも参加する韓国の中心的市民運動団体。民主主義の基盤を固め、人間らしく生きられる社会実現をめざし、朝鮮半島と北東アジアの平和実現でも積極的に提言している。

● 日本軍「慰安婦」問題の解決へ向けての交流

交流予定先: 韓国挺身隊問題対策協議会
 女性と人権博物館の見学とともに、日本軍「慰安婦」問題の解決へ向けて交流。1990年11月に37の女性団体と個人が集まり結成。日本軍「慰安婦」犯罪の認定・真相究明・国会決議による謝罪と法的賠償、そして歴史教科書への記録など7大要求を掲げて活動。1992年1月に在韓日本領事館前での抗議行動「水曜集会」を開始してから、毎週実施している。抗議行動には多くの団体・人が参加し、特に若い層の参加が目立つ。

● 在韓米軍基地の現状と問題について交流

交流予定先: 平沢米軍基地拡張阻止対策委員会
 ソウル都心にあった龍山米軍基地の移転等にもない平沢市郊外の農村地帯ペンソン邑テチュ里の農地が強制収用された。2018年6月29日に在韓米軍は、司令部をソウル南方の京畿道平沢市にある米軍基地キャンプ・ハンプリーズに移転した。1957年7月にソウル市内の竜山基地に創設されて以来、在韓米軍司令部の移転は初めて。それによる防衛態勢強化の取り組みなどが問題となっている。



● 南北を分断している軍事境界線

見学予定先: 板門店あるいは統一展望台
 2018.4/27、板門店で南北首脳会談が開かれ、終戦をめざす「板門店宣言」が発表
 第二次大戦後、35年に及び日本の植民地支配から解放。「朝鮮人民共和国」を予定したが、米ソの対立が朝鮮に持ち込まれ、民族分断国家が成立してしまう。ソ連が満州から越境、アメリカが仁川に上陸、1945年の米英ソ外相会議で5年間の「信託統治」合意に対して大国の勝手に民衆が反発～済州島4.3事件、1948.8/15に「大韓民国」を成立。北が対抗し9/9に朝鮮民主主義人民共和国を樹立。
 その後、1950.6に朝鮮戦争が勃発し、3年にもおよび朝鮮半島全土を戦場とした。1953.7/27に休戦協定がなされ、北緯38度線付近の休戦時の前線が軍事境界線として認定～南北2国に分断される。
 ※南北会談以降、板門店への訪問は規制が厳しくなっていることから見学・訪問先は「板門店か統一展望台」のどちらかになります。